

情報入力シート＜病院情報＞

病院ロゴ		
病院名	独立行政法人 国立病院機構 九州がんセンター	
薬剤部科URL	https://kyushu-cc.hosp.go.jp/section/department_pharmacy_visit.html	
キャッチコピー	がんの専門知識を習得可能！	
学生へメッセージ	昨今、病院内での薬剤師への期待は大きく、その幅広い業務に対応していく必要があります。 その中で、九州がんセンター薬剤部は、医療チームの一員として医師・看護師等と連携を図りながら、最良のがん薬物療法を目指しています。 この目標を達成するための教育・研修体制として、当薬剤部では、1年目の薬剤師から教育スケジュールに基づいた先輩薬剤師による指導やバックアップが受けられる体制を整えています。 是非、当薬剤部の一員として研鑽を重ね、チーム医療の一翼を担える病院薬剤師をめざしてみませんか。	
プロフィール	近年のがん薬物療法は発展が目覚しく、新規分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬等の新しい薬が次々と登場しています。これらの薬剤は高い治療効果をもたらす一方で、予想しない副作用を引き起こす場合もあり、専門的な薬学的管理が求められます。患者さんが、このような新しい治療を安心・安全に受けられるよう、薬剤部は最適ながん薬物療法の提供に努めています。 当院は職種間の垣根が低いことが特徴で、医師や看護師など多職種との密接に連携し、薬剤部もチーム医療の一員として、最良の医療を支えています。 さらに、当院では、薬剤師が外来患者さんと面談を行う「薬剤師外来」を設けており、がん薬物療法に関する服薬指導や副作用の予防・管理、生活上の注意点などを丁寧に説明し、患者さんが安心して治療に臨めるよう支援しています。 このように、入院・外来を問わず、患者さんが安心して安全で最適な薬物治療を受けられるよう、薬剤部では、副作用防止を目的とした「患者アセスメント」を行い、医薬品の適正使用にもとづいた「医療の質と安全」の確保を目指しています。	
連絡先	092-541-3231(代表) ご質問等あれば 副薬剤部長へ	
アクセス	西鉄バス：「九州がんセンター」停留所より徒歩30秒 詳細はコチラ→ https://kyushu-cc.hosp.go.jp/outpatient/access.html	
診療科目	消化管外科 / 肝胆膵外科 / 呼吸器腫瘍科 / 婦人科 / 頭頸科 / 乳腺科 / 泌尿器・後腹膜腫瘍科 / 整形外科 / 形成外科 / 歯科口腔外科 / 皮膚腫瘍科 / 血液・細胞治療科 / 小児・思春期腫瘍科 / 消化器肝胆膵内科 / 消化管・腫瘍内科 / 消化管・内視鏡科 / サイコオンコロジー科 / 腫瘍循環器科 / 緩和治療科 / 老年腫瘍科 / 糖尿病・代謝科 / 麻酔科 / 画像診断科 / 放射線治療科 / 病理診断科 / 臨床検査科	
病床数	411	
病院の特徴	都道府県がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院、病院機能評価 機能種別版評価項目3rdG：Ver.2.0 認定	
アピールポイント	教育スケジュールを基に指導バックアップ体制を整えています！ 多職種と密なチーム医療ができ、薬剤部内だけでなく幅広く活躍できます！ オンとオフのメリハリがつけやすく、ワークライフバランス良く働けます！	
研修施設	【日本医療薬学会】地域薬学ケア専門薬剤師研修施設、医療薬学専門薬剤師研修施設、がん専門薬剤師研修施設 【日本緩和医療薬学会】緩和医療専門薬剤師研修施設 【日本臨床腫瘍薬学会】がん診療病院連携研修病院	
薬剤師数	26 人	
薬剤師構成	(男女比) 男性 9 : 女性 17	年齢構成 20代 3名 30代 13名 40代 9名 50代 1名
認定資格・数	【日本医療薬学会】がん専門薬剤師 1名、医療薬学専門薬剤師 3名、医療薬学指導薬剤師 1名 【日本臨床腫瘍薬学会】外来がん治療認定薬剤師 3名 【日本緩和医療薬学会】緩和薬物療法認定薬剤師 2名、緩和医療暫定指導薬剤師 1名 【日本栄養治療学会】NST専門療法士 6名、栄養治療専門療法士(がん専門療法士) 1名 【日本病院薬剤師会】感染制御認定薬剤師 1名 がん薬物療法認定薬剤師 1名 【日本化学療法学会】抗菌化学療法認定薬剤師 1名 【薬学教育協議会】認定実務実習指導薬剤師 5名	
臨床研究実績	2022年度以降 論文投稿：3報（癌と化学療法、日本病院薬剤師会雑誌、医療薬学 各1報） 学会発表：口演 22演題、示説 32演題	
チーム医療活動	ICT（感染対策向上加算1）、NST、緩和ケアチーム、AYA世代サポートチーム、高齢者評価・管理チーム	
院内保育園（連携含）	☒ 有 ☐ 無	